

1. 区民ミーティングの開催概要

平成18年度から区民ワークショップで検討した内容について、メンバーと地域の区民とが意見交換し、その意見も含めてまとめることにより、区民ワークショップの提案がより多くの区民の声を反映した内容にするため、「区民ミーティング」を開催しました。

(1) 開催状況

地域別に合計6回開催した区民ミーティングでは、回を経る毎に多くの区民の方が集まるようになり、最終的にはのべ132人の参加者がありました。

各回の参加者数及び日程、会場は以下の通りです。

	日程	会場	参加者数 (左:WSメンバー、右:一般区民)
A	7月27日(金)	八広図書館集会室 ホール	35人(3人、32人)
B	7月24日(火)	曳舟文化センター 第一会議室	29人(2人、27人)
C	7月23日(月)	立花四丁目集会所 多目的室	21人(5人、16人)
D1	7月19日(木)	家庭センター 第一講習室	12人(3人、9人)
D2	8月2日(木)	業平三丁目集会所 多目的室	18人(5人、13人)
D3	7月20日(金)	みどりコミュニティセンター 会議室	17人(4人、13人)

*開催時間:各会場午後7時から午後9時まで

(2) 主な内容とその流れ

1) 全体説明

- ワークショップメンバーから、これまでの検討内容を映像を使って発表していただきました。
～熱のこもった説明に、一般の区民の方々は熱心に聞き入っていました。



映像を用いた発表の様子



説明にも熱が入ります



皆さん発表に聞き入っています

2) 休憩

- 会場には検討成果をまとめた大判のパネルを展示し、説明しきれなかった内容や良く分からなかった内容について見て、質問して確認できるようにしました。
- パネルには、気になる箇所や是非言っておきたい内容を付箋に書いて貼り付けてもらい、次の意見交換の材料を集めました。
～熱心に付箋に意見を書き込む人や知り合い同士で早くも意見交換を始める人など終始なごやかムードで、続く意見交換に向けた雰囲気づくりにとても役に立ちました



「どれどれどんな内容かな」



「この部分が少し気になる」



あちこちで話が弾みます

3) 意見交換

- ワークショップのテーブル担当が進行役として、パネルに貼られた付箋に関する発言を促しながら、参加者の方々から意見を引き出していました。
- WSメンバーが、自分たちの提案への理解を求めため、パネルの前で改めて説明を行ったり、良い意見には「是非考えを取り入れたい」などの返答をする場面もありました。
- 最後に書記役が意見交換の内容をまとめ、参加者全員で内容の確認をしました。
～1つの発言を皮切りに意見交換が白熱し、予定時間を大きく超過した地域もありました。



貼られた付箋の内容を紹介



「私の希望は・・・」



WSメンバーからの返答

(3) 参加者から出された主な意見

1) 路地や碁盤の目状の道路について

- <北部地域>・・・現在の道路幅のままで建て替えを可能にするという提案に対して
○先に壁面後退した人が損をするのは良くない。高い建物が心配ならば別途高さ制限をすればよい。
- <南部地域>・・・碁盤の目状の道路を有効活用しようという提案に対して
○自転車に乗る時にはいつも困っていたので自転車道ができるのはとても良いと思う。
○町工場などが並ぶこのまちの特性を考えると、歩道を広げるのは住宅街に限った方がよい。
○道といってもストリートやアベニュー、路地まで色々なタイプがあるので全ての場所で同じことはできないと思う。

2) 水辺の整備について

- 川の周りを整備する前に公園内の汚い(老朽化している)部分をきれいにするのが重要だと思う。
- 堅川を子供の遊び場として利用できるよう考えて欲しい。/危ないイメージの所になるので川を埋めるのは反対。

3) まちの活性化について

- 鐘ヶ淵駅周辺の活性化のために東武線の高架化と駅前広場の整備は欠かせない視点だと思う。
- 堅川以南は整備が遅れていて裏玄関というイメージがある。もっと整備を進めて欲しい。
- 錦糸町～押上・業平橋にかけて賑わいを形成する方向に向いているが、静かな居住区があっても良いのではないかな。
- 旧中川の整備は観光というよりは「住みやすい環境づくり」を目指して活動してきた結果である。
- 学校跡地の活用を検討するのも良いが、避難場所が減るのは困る。

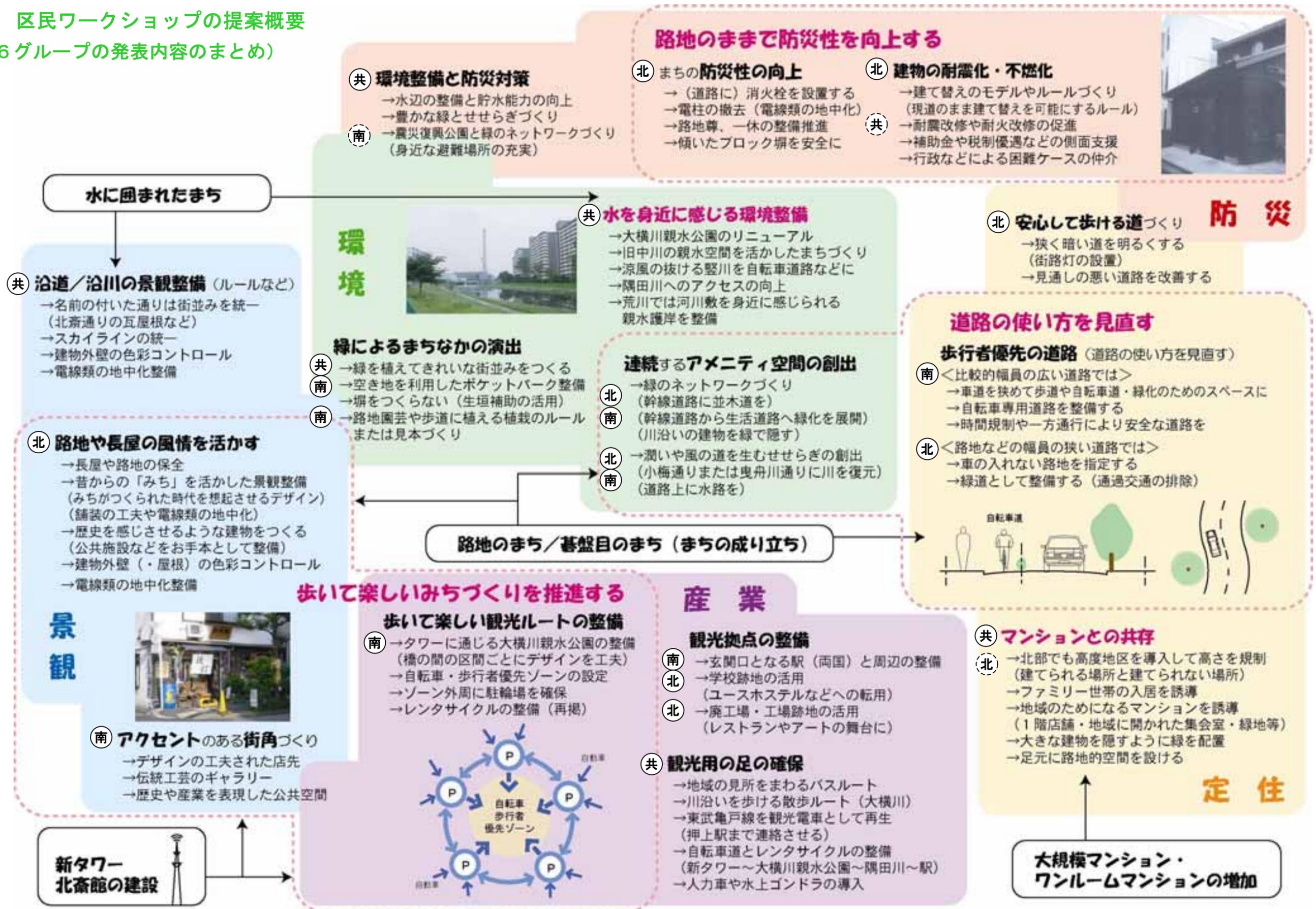
4) 新タワー周辺の観光まちづくりについて

- 人力車や舟(←反対意見もあり)、ミニバスや亀戸線を利用して人を集め、まわってもらうのが良い。
- 新タワーや北斎館のインパクトをもっと活かすことを考えて欲しい(例:野見宿彌神社の活用など)。
- 来街者を楽しませるためには、特定の通りだけでなくまち全体を良くしていく必要があるのではないかな。
- 桜橋を道路橋にするなどの渋滞対策を考える必要があるのではないかな。

5) その他

- 今日のこのような提案を実現するためにみなが積極的に取り組んでいくことが大事である。

2. 区民ワークショップの提案概要 (6グループの発表内容のまとめ)



3. 各グループの発表の紹介 (1) Aグループ

2007年7月27日 Aグループ

豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

このグループの検討範囲と現状認識

○ 良い点

- 古くても良い建物がある
- 印象に残る路地が多い
- 道を一本入るととても静かで住みやすい
- あまり知られていないが名所のような場所が多い
- 荒川の河川敷は隅田川にひけを取らないほど魅力的

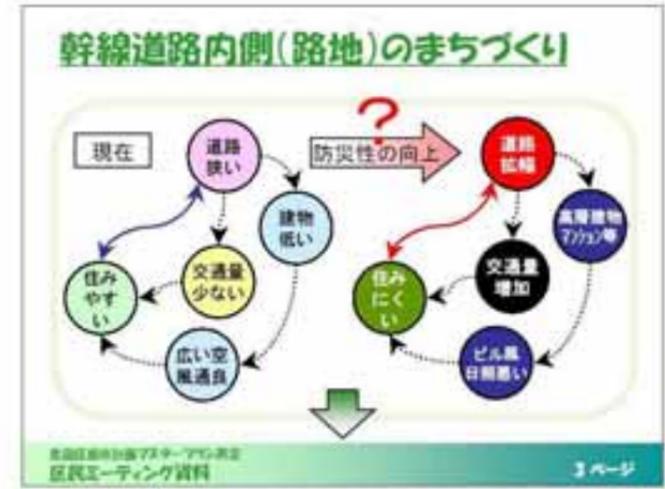
1 ページ

このグループの検討範囲と現状認識

× 悪い点

- 空き家や留守交番が多く、治安が心配
- 道が狭いけれど、車の通行が多い通りがあり
- 幹線道路沿道では、高層マンション、騒音、大気汚染、違法駐車・駐輪などの問題がある

2 ページ



幹線道路内側(路地)のまちづくり2

道については...

定住

- 車の入ることができない路地を決める
- 今の道幅のまま建て替えができるように
- 車の入れない道路を分かりやすく (例 舗装を変える)
- 路地に名前をつける
- 車の入れる道路も「時間規制」や「一方通行」などの条件付きで通れるようにする

5 ページ

幹線道路内側(路地)のまちづくり3

建物については...

定住

- 小さな敷地でも豊かに暮らせるように
- 隣の家との間に隙間を空ける仲良く建て替え
- 道路幅に応じた建物の高さを決める(例 4階まで)
- 建て替えのためのアパート(近くでの住み替え)

景観 見た目も大事

- 建物の色の調和(屋根の色の統一だけでも)
- 広告や看板にも統一性をもたせる
- 歴史を感じさせるような建物をつくる (お手本として集会所などをつくる)

6 ページ

幹線道路内側(路地)のまちづくり4

敷地や外構については...

環境

- 緑を植えてきれいな街並みづくり(小さな緑を大切に)
- 空き地を利用してポケットパークをつくる
- 塀はなるべくつくらない
- つくるなら生垣か植栽に

その他

- 建て替えを促進するための仕組みとして...
- 補助金、税制優遇
- 反対の人を動かす行政の仲介
- 借地での建て替え支援

目標の共有化

7 ページ

幹線道路沿道のまちづくり1

幹線道路のマンション建設

現状

- 一居住者＝路地居住者の家族も多い
- 一親子の近居などを実現している
- 一延焼を遮断する効果もある

～路地のまちとつなげていく
一体感のあるまちづくりを考える～

8 ページ

幹線道路沿道のまちづくり2

定住

- 1階の店舗をもっとうまく利用する
- 集会所などのスペースを開放する
- 歩道を広げる(すぐには広げられないので街路樹の植え方などで広げられないか)

環境

- 幹線道路に並木道を(路地の文化と馴染むような緑)
- 住民自らが緑を管理(アダプト制度)
- 大きな建物を隠すように緑を配置する
- 沿道の開発は緑を増やす機会に

など

9 ページ

これまでの検討内容のまとめ

	① 現状認識(課題、問題点)	② 検討内容(検討範囲、検討項目)
まちの変化	① 現状認識(課題、問題点) - 空き家や留守交番が多く、治安が心配 - 道が狭いけれど、車の通行が多い通りがあり	② 検討内容(検討範囲、検討項目) - 空き家や留守交番の解消、治安の向上 - 道路の拡幅、交通量の削減 - 高層建物のアパルト等の規制
道	① 現状認識(課題、問題点) - 車の入ることができない路地を決める - 今の道幅のまま建て替えができるように	② 検討内容(検討範囲、検討項目) - 車の入れない道路の確保、舗装の変更 - 路地の名前をつける - 車の入れる道路も「時間規制」や「一方通行」などの条件付きで通れるようにする
建物	① 現状認識(課題、問題点) - 小さな敷地でも豊かに暮らせるように - 隣の家との間に隙間を空ける仲良く建て替え	② 検討内容(検討範囲、検討項目) - 小さな敷地でも豊かに暮らせるように - 隣の家との間に隙間を空ける仲良く建て替え - 道路幅に応じた建物の高さを決める(例 4階まで) - 建て替えのためのアパート(近くでの住み替え)
敷地(外構)	① 現状認識(課題、問題点) - 緑を植えてきれいな街並みづくり(小さな緑を大切に) - 空き地を利用してポケットパークをつくる	② 検討内容(検討範囲、検討項目) - 緑を植えてきれいな街並みづくり(小さな緑を大切に) - 空き地を利用してポケットパークをつくる - 塀はなるべくつくらない - つくるなら生垣か植栽に
その他	① 現状認識(課題、問題点) - 建て替えを促進するための仕組みとして... - 補助金、税制優遇 - 反対の人を動かす行政の仲介 - 借地での建て替え支援	② 検討内容(検討範囲、検討項目) - 建て替えを促進するための仕組みとして... - 補助金、税制優遇 - 反対の人を動かす行政の仲介 - 借地での建て替え支援

10 ページ

(2) Bグループ

2007年7月24日 Bグループ

区民ワークショップの 検討内容の紹介



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

このグループの検討範囲と現在の特徴



- ・長屋や路地など風情ある雰囲気が魅力の地域
- ・ゆったりとした時間が流れるまち
- ・地域の歴史を見つめてきた隅田川は、貴重な資源であるが距離が生まれている

豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

平成18年度の検討内容

Bグループのイメージは...

- ・京島・向島は路地・長屋が残り趣があるが、細街路が多く**防災上の課題**を抱えている。
- ・向島料亭街などの**伝統文化**が現在に受け継がれている。
- ・隅田川、北十間川などの**貴重な水辺**がある。
- ・**新タワーの建設**が予定され、**豊田駅周辺では再開発**が進められている。

豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

検討のテーマ

歩いて暮らす地域であり、「みち」を中心にまちを考える。

- ・路地と長屋を活用しよう！
- ・歩きたくなる「みち」をつくろう！
- ・水辺を感じる空間をつくろう！

このテーマを詳細に考えました

防災 定住 環境 景観 産業

豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

分野別のまちづくり① 防災

安全・安心のまちづくり

- ・「路地」を活用したハードとソフトの対策
- ・現在の「みち」の幅を有効に活用
- ・路地専・一休の展開



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり② 定住

長屋などをおける暮らし方や歩いて暮らせるまちのスタイルを活かした定住環境づくり

- ・「路地」と「長屋」が調和した住環境
- ・歩きたくなるような「みち」づくり（舗装のデザイン・座るためのベンチ...）



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり③ 環境

「川」の復元と緑に囲まれたまちづくり

- ・小橋通りあるいは豊田川通りに川を復元し風の通り道をつくる
- ・生活道路は歩く「みち」として、自動車の通行は極力制限し、環境対策にも役立つ
- ・緑に囲まれた「みち」をつくり、環境のことも考える



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり④ 景観

長屋・路地、隅田川などの地域の資源を活かした景観づくり

- ・路地や長屋を大切にし、景観づくりに活かす
- ・「みち」がつけられた時代をイメージする舗装や電線地中化
- ・隅田川がらみ景観づくり
- ・路地と調和するマンションの建て方の誘導



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり⑤ 産業

地域の魅力を発信し、もてなすまちづくり

- ・景観資源を結ぶ「みち」づくりを進め地域の魅力の向上を図る
- ・新タワーからの観光客を呼び込む「みち」をつくる



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

検討内容のまとめ

歩いて暮らす地域であり、「みち」を中心にまちを考える



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

意見のまとめ



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

(3) Cグループ

2007年7月23日 Cグループ

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料



墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

1 ページ

このグループの検討範囲と現状認識



- 墨田区の外れにある地域
- 隠れた良いものがある／暮らしやすい地域
- 近年大きく姿を変えつつある地域

↓

- 地域に人を集めよう
- まちを活性化しよう

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

1 ページ

イベントや具体的な活動のアイデア

現状
(隠れた)良いものがある 近年大きく姿を変えつつある

↓ コミュニティの力が弱くなっている

墨田区以外で採った方法で
地域の隠れた施設をPR

- 健康ハウスで集まる
- 大正民衆劇に相模さんを呼ぶ

イベントなどを開催して人を集める

- 大正民衆劇に相模さんを呼ぶ
- 物産展などを開催する

グループ活動をきっかけとしたコミュニティづくり

- 水辺や小さな公園で草花の管理

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

2 ページ

住む人を集める方策①「定住」

現状
中居巡りや小村井駅の周辺などで大規模なマンションの建設が続いている
自転車を利用する人が多いが、駅前やスーパーなどに駐輪場が不足している

↓

「定住」

～マンションへの対応～

- 大きなマンションは周辺に配慮を
- 子育て世帯を誘導する

～地域内をもっと輝かしやすく～

- 駐輪場の整備
- 生活に身近なバスルート(ミニバスなど)

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

3 ページ

住む人を集める方策②「防災(・防犯)」

現状
歩道がない、ミラーがない狭い道が多い
夜暗く、1人では歩きづらい道もある

↓

「防災(・防犯)」～安心して歩ける道～

- 街路灯を設置して道路を明るくする
- 見通しの悪い道路を改善する
- 川沿いの遊歩道など歩きやすいルートを整備する
- 防災や防犯に役立つコミュニティをつくる

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

4 ページ

来る人を集める方策①「産業」～「景観」

「産業」～観光用の足の確保～

- 地域の見所をまわるバスルート
- 北十間川～旧中川を巡る水上ゴンドラ
- レンタサイクル(川辺のサイクリングコース)

↓

「景観」

- 人の通るルート沿いの建物の色を揃える
- 清掃工場の煙突のライトアップ/煙突に絵や柄を描く
- 工場などの施設もライトアップする

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

5 ページ

来る人を集める方策②「産業」～「環境」

現状
工場の閉鎖が多い

↓

～工場跡の活用～「産業」

- 観光施設に転用する
- 見学会を開催する
- アート(壁画など)の舞台に

～工場跡の活用～「環境」

- ～跡地の土壌汚染対策～
- 国や都へ改善の働きかけ
- 草木を植えて環境回復

～学校跡地の活用～

- 環境学習の拠点に
- 宿泊設備を設置
- ピクトブの整備

～学校跡地の活用～

- ユースホステルに転用(観光の拠点に)

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

6 ページ

来る人を集める方策③「環境」

現状
きれいになった旧中川

↓

「環境」

～旧中川の活用～

- 水辺に季節の花を植える
- 遊歩道の全面開通
- トイレやスロープなどの施設も整備する

～人が来る、鳥が来る、虫が来る環境整備～

- 殺菌量の公園に花や緑を
- テーマを持った特徴ある公園をつくる
- 花が咲く、実のなるものを植える

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

7 ページ

これまでの検討内容のまとめ



墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

8 ページ

主な意見を地図にまとめると...



墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

9 ページ

(\$) D1グループ

2007年7月19日 D1グループ

墨田区都市計画マスタープラン改定 区民ミーティング 資料



D1グループ1

このグループの検討範囲



D1グループ1

「定住」・「環境」について

地域の現状
昔からの産業の構造変化
ワンルームマンションの急増
世代の偏り

定住
慣れない新住民の増加
定住を促す住宅を
増やしていく
地元から帰省帰郷
して不安解消

コミュニケーションの活性化
コミュニケーションの
場づくり
住民～新住民

環境
キレイな公園に
リニューアル

D1グループ12

道の使い方を見直す

地域の現状
新築目の道路
△ 路外に歩道空間が狭い
△ 一方通行が多いので
車が危ない

定住
道の使い方を見直す
自転車・歩行者優先の道づくり
変化のある道づくり

D1グループ13

「景観」について

地域の現状
「この地域」といえば「コレ」という
地域のイメージがない

景観
街並みの色彩コントロール
北斎通りのイメージづくり
夜の明かり→ライトアップ

産業

D1グループ14

「産業」について

産業
観光の基本方針
● 区内の財産を活かし、横の連携をとった活動を
展開していく
● 観光をきっかけとして、地元の理解を得ながら
地元を育てていく

歴史・文化を見せる

観光の考え方
ゾーンの中を自転車・歩行者で
観光してもらう
看板・マップ・標識で
わかりやすく



D1グループ15

「防災」について

地域の現状
ワンルームマンションの急増
暮ら目で広い道路
耐震化された建物

この地区は全体的に防災圏で覆れているが...

防災
地元以外の勤労者・観光客・新住民の受け皿
がない

一部地域での木造住宅・施設の老朽化
通りの電線が災害時に
障害

景観

D1グループ16

「防災」について

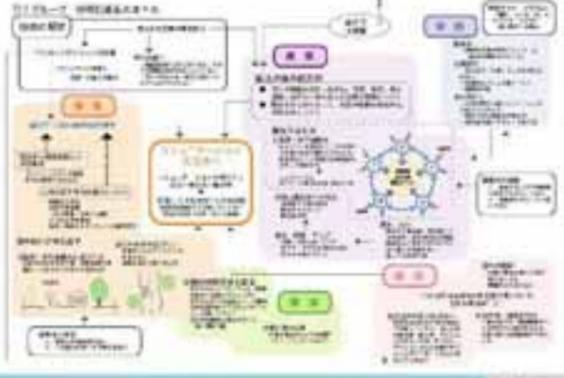
防災
防災も最後は“人”

コミュニケーションの活性化
コミュニケーションの場づくり
住民～新住民

町会=小さな政府としての役割
経済的な基盤をどう築いていくか?

D1グループ17

D1グループ分野別意見のまとめ



D1グループ18

(5) D2グループ

2007年8月2日 D2グループ

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

このグループの検討の方向性

平成18年度
平成19年度

18年度 (D地区)
道、歴史、賑わい、川を活かしたまちづくりが課題

19年度 (D-2地区)
エリアをしぼって、地域の特徴や資源の活かし方を具体的に提案

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

今年度の検討の進め方

- 1 地域をとりまく広域的なつながりや特徴から地域の位置づけや魅力を再確認する
- 2 対象エリアに絞って検討すべきテーマその方向性を検討する
- 3 具体的な場所を取り上げ、地域の魅力アップのアイデアや空間デザインを出しあう

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

①地域の位置づけや魅力の確認

観光資源の発信源として重要な役割

- ◇「練馬町」～「尚国」～「押上から連草」という大きな三角形の一角
- ◇ 重要な大横川親水公園/北斎通り
- ◇ 区全体の案内板をつくらう

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

②まちづくりの方向性の検討

新タワーの波及効果や川の手を象徴する多様な資源を活用した環境づくり、賑わいづくり、まちおこし

- ◇ 拠点や主要な軸から近い道路へと展開
- ◇ 道路を水と緑の場所に(道路空間の有効利用・水辺空間の創出)

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

③地域の魅力アップのアイデア (1/3)

地域の魅力軸となる大横川親水公園

- ◇ 橋と橋の間の区間ごとにテーマを設けて特色ある空間を整備
- ◇ 公園沿いのマンションは緑で囲す

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

③地域の魅力アップのアイデア (2/3)

- 1 区内の伝統工芸の店などのお店が街角のアクセントになっている。建築デザインの工夫が産業、景観の両面で地域資源になりうる。
- 2 相模部屋等が多く、また、新タワーや隅田川リバーサイドなどもあることから、このような固有の歴史・観光資源を結びつけていくことが、地域らしさを活かす上で重要。
- 3 地区全体を貫く大横川親水公園が新タワーにつながる重要な道筋でもある。景観デザインを工夫することで磨きをかけることができる。

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

③地域の魅力アップのアイデア (3/3)

- 4 押上付近の特徴ある店舗群や練馬町付近の専門学校群など、異質性を活かし特徴づけていくことができないか。
- 5 本所消防署、消防学習館、練馬公園など防災機能が蓄積しているので、住民の防災意識を高めるエリアとして情報発信が可能。
- 6 防災性に優れた「暮らさずとも眺めたい」街並みは、特徴の無い「わかりにくい町」という印象を与える。店先のアクセントなどによって、個性ある街角、街並みを創っていくことが効果的。

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

④まとめ 分野別の提案 (一覧)

分野	提案内容
建築デザイン	デザインされた街角づくり (特徴を持った店先/伝統工芸のギャラリー)
歴史・産業	歴史や産業を感じるアクセントの効いたまちづくり
環境・防災	親水整備などの水辺整備による貯水能力の向上
コミュニティ	マンション居住者を地域に定住させる仕組みづくり

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

④まとめ 分野別の提案 (主な項目の抜粋)

- I. 建築デザインや街角の工夫
 - ◇ デザインの工夫された街角づくり (特徴を持った店先/伝統工芸のギャラリー)
 - ◇ 歴史や産業を感じるアクセントの効いたまちづくり
 - ⇒ 歩いて楽しいまち/愛着の持てるまちに
- II. 連続するアメニティの創出
 - ◇ 大横川親水公園の整備 (憩いと潤い)
 - ◇ 道路空間の有効活用 (緑化や水路整備、幅広の歩道や自転車専用道路の確保)
 - ⇒ 歩いて暮らせるまち/快適な生活環境を持つまちに

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

④まとめ 分野別の提案 (主な項目の抜粋)

- III. 川の手らしさと防災・環境貢献
 - ◇ 親水整備などの水辺整備による貯水能力の向上
 - ◇ 区内に不足する自然の整備による特徴づくり (豊かな緑やせせらぎの創出)
 - ⇒ 安全なまち/環境にやさしいまちに
- IV. 新旧住民のコミュニケーション
 - ◇ マンション居住者を地域に定住させる仕組みづくり
 - ◇ 女性の行動力を活かしたネットワーク
 - ◇ 「ひと」がキーワードのまちづくり (教育・介護・防災・環境...)
 - ⇒ 世代を超えて住み続けられるまちに

墨田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング資料

(6) D3グループ

2007年7月23日 D3グループ

区民ワークショップの 検討内容の紹介



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

このグループの検討範囲と現在の特徴



- ・江東区と一体になっている
- ・とりたてて行く理由がなく、素通りしやすい
- ・トレンド・ドラマによって人気が出た
- ・地下鉄沿線は便利な地域で、かなり賑わいもある
- ・マンションがどんどん建設されており、街の変化が大きい

豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

主な検討課題と5つのテーマ(分野)

(周辺と共通)

- ・甚望の目状に整備された道路をどのように活かしていくか
- ・身近にある河川をどのように活かしていくか

(データから)

- ・ワンルームマンション建設が著しく多い
- ・公共公益施設、公園・緑地が少ない



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり1 産業

- ・両国沿線の相模原駅や関連施設が存在
- ・地域内には小さな史跡や文化財なども点在

→相模原駅周辺は、特色ある(唯一の)観光資源として大いにアピールしていく

→駅南の両国1~3丁目の一体的なリニューアルが必要



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり2 定住

- ・甚望の目状に道路が整備されている
- 一方通行で広い道が多い(周辺の地域と共通事項)
- 「自動車の道」から「人や自転車の道」へ変えていく
- 歩道の拡張や歩道橋の整備
- 一部は人と自転車専用の緑道として再整備し、過渡交通は排除する
- 例えば幅員4m未満の道路は緑道に



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり3 防災

- ・震災復興公園がいくつも残っている
- 地域の防災拠点として見直す
- 緑のネットワークづくりに活かす
- ・江東区の鶴江恩賜公園が広域遊覧所
- 広域遊覧所よりも身近な遊覧所の充実(大横川親水公園の活用は?)



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり4 環境

- ・高架道路の高架下にある菅川は冷風が通る(今後堤防改修も予定されている)
- 高架下に風や日差しが気にならない快適な自転車道を提供する
- 菅川と大横川との交差点を特に魅力的な空間として整備する



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

テーマ別のまちづくり5 景観

- ・新旧の建物が入り乱れており、街並みがバラバラな印象を受ける
- ・南北、東西方向に名称のついた幹線道路がある(周辺の地域と共通)
- 主な通りには、スカイラインや色調の統一など景観形成のルールを定める



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

検討内容のまとめ

下町の特色を残しつつ、地域の歴史を上手に活かしたまちづくり



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料

地図上での意見の整理



豊田区都市計画マスタープラン改定
区民ミーティング 資料